

クレジット:

Mathematics and Informatics Center 文科系のための線形代数・解析Ⅱ  
2020 藤堂 眞治・松尾 泰・藤原 毅夫

ライセンス:

利用者は、本講義資料を、教育的な目的に限ってページ単位で利用することができます。特に記載のない限り、本講義資料はページ単位でクリエイティブ・コモンズ 表示-非営利-改変禁止 ライセンスの下に提供されています。

<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/>

本講義資料内には、東京大学が第三者より許諾を得て利用している画像等や、各種ライセンスによって提供されている画像等が含まれています。個々の画像等を本講義資料から切り離して利用することはできません。個々の画像等の利用については、それぞれの権利者の定めるところに従ってください。



## 最小二乗解 (グラム行列)

行列  $A$  に対して実ベクトル  $\mathbf{b}$  が与えられたとする.

このとき

$$J = \|A\mathbf{x} - \mathbf{b}\|^2 \equiv (A\mathbf{x} - \mathbf{b})(A\mathbf{x} - \mathbf{b})'$$

を最小にするように  $\mathbf{x}$  を決める問題を考えよう. これを最小二乗問題といい, 最小 2 乗法と同等の問題である.

今の場合, 最小二乗問題の解  $\mathbf{x}'$  は

$$A'A\mathbf{x}' = A'\mathbf{b}$$

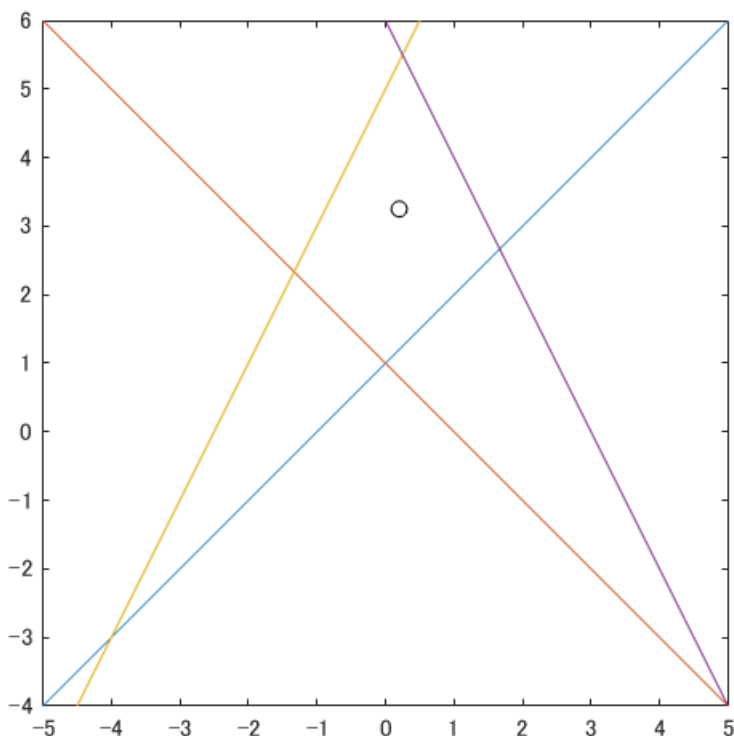
の解である.  $A'A$  をグラム行列という. ここではグラム行列の意味を考えてみよう.

$$A\mathbf{x} = \begin{pmatrix} -1 & 1 \\ 1 & 1 \\ 2 & -1 \\ 2 & 1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_1 \\ x_2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ -5 \\ 6 \end{pmatrix} = \mathbf{b} .$$

方程式の数と未知数の数が合わないので, 解は存在しない.

3つの直線を図に描き, 後で求まる最小二乗解を描き入れておく.

```
f=@(x,y) -x+y-1;
g=@(x,y) x+y-1;
h=@(x,y) 2*x-y+5;
i=@(x,y) 2*x+y-6;
fimplicit(f,[-5 5 -4 6]);hold on
fimplicit(g,[-5 5 -4 6]);hold on
fimplicit(h,[-5 5 -4 6]);hold on
fimplicit(i,[-5 5 -4 6]);hold on
plot(0.2,3.25,'-.ok')
daspect([1 1 1])
hold off
```



解に対して3点と，得られた直線を図示せよ．

```
A=[-1 1; 1 1; 2 -1;2 1];
b=[1;1;-5;6];
x=(A'*A)\(A'*b)
```

```
x = 2x1
    0.2000
    3.2500
```

```
J=(A*x-b)'*(A*x-b)
```

```
J = 20.3500
```

- [補足] ここで得られる値  $x=(A'A)\backslash(A'b)$  および  $J=(A*x-b)'(A*x-b)$  は何かについて，講義の際に説明したことに少し補足をしよう．

以下のような計算を試みる．  $J1$ は上で定義した評価関数である．

```
syms u v
J1=(-u+v-1)^2+(u+v-1)^2+(2*u-v+5)^2+(2*u+v-6)^2;
J2=10*(u-1/5)^2+4*(v-13/4)^2+407/20
```

```
J2 =
```

$$10 \left(-\frac{1}{5} + u\right)^2 + 4 \left(-\frac{13}{4} + v\right)^2 + \frac{407}{20}$$

```
J11=expand(J1);
J22=expand(J2);
```

ans = 0

直線  $f$  上の点を  $(x_f, x_f)$ , 今求めたい点を  $(x, y)$  とし, 直線の方程式を  $a_1x + a_2y - b = 0$  とする (下図).

点  $(x, y)$  より直線に下ろした垂線の足の長さは, 下の図に示すように  $\frac{a_1x_1 + a_2x_2 - b}{\|(a_1, a_2)\|}$  となる.

したがって上で定義した評価関数  $J = \|Ax - \mathbf{b}\|^2$  は,

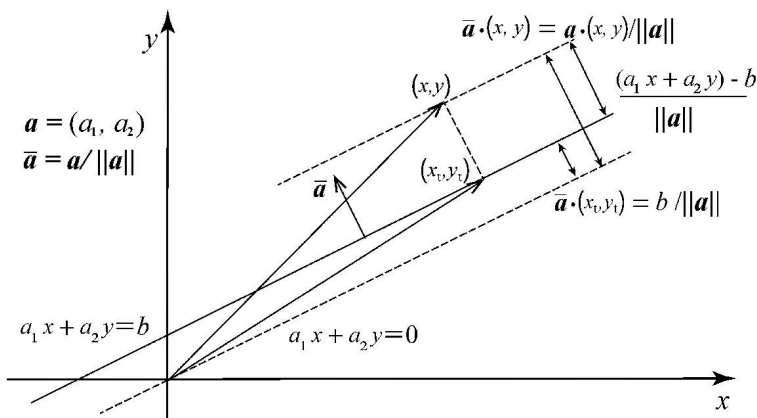
$$\left[ \text{点}(x,y)\text{から直線に下ろした垂線の足の長さ} \times \|(a_1, a_2)\| \right]^2$$

の, 直線についての和である.

すなわち,  $f, g, h, i$  の4つの直線で囲まれた領域付近の点で, (交点ではないし, また重心でもないが, )

上のような評価関数の下で, 交点に近いという「意味合い」を持つ点といえる.

もし, 直線  $f$  の方程式を, ここで与えたものの定数倍すれば, (直線は変わらないのに) 評価関数の重みが変わってくるので, 結果が変わってくるということになる. このことにも注意しておかなくてはならない.



グラム行列の式

$${}^tAAx = {}^tAb$$

に変形すれば

$$A = \begin{bmatrix} -1 & 1 \\ 1 & 1 \\ 2 & -1 \\ 2 & 1 \end{bmatrix};$$

$$b = [1; 1; -5; 6];$$

${}^tAA$  は

$$A^*A$$

ans = 2×2

$$\begin{bmatrix} 10 & 0 \\ 0 & 4 \end{bmatrix}$$

となり、 $A'Ax = A'b$  を満足する解  $\begin{pmatrix} x_1 \\ x_2 \end{pmatrix}$  が求まる：

$$x = (A' * A) \setminus (A' * b)$$

$$x = \begin{matrix} 2 \times 1 \\ 0.2000 \\ 3.2500 \end{matrix}$$

この点が上の図に丸印で記入してある。

またこのときの評価関数の値  $J$  は

$$J = (A * x - b)' * (A * x - b)$$

$$J = 20.3500$$

である。

以上が最小二乗解，すなわち最初に設定した  $J$  を最小化する  $(x_1, x_2)$  と  $J$  の値である。

$$\begin{pmatrix} 10 & 0 \\ 0 & 4 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_1 \\ x_2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 2 \\ 13 \end{pmatrix}$$

を図に描こう。

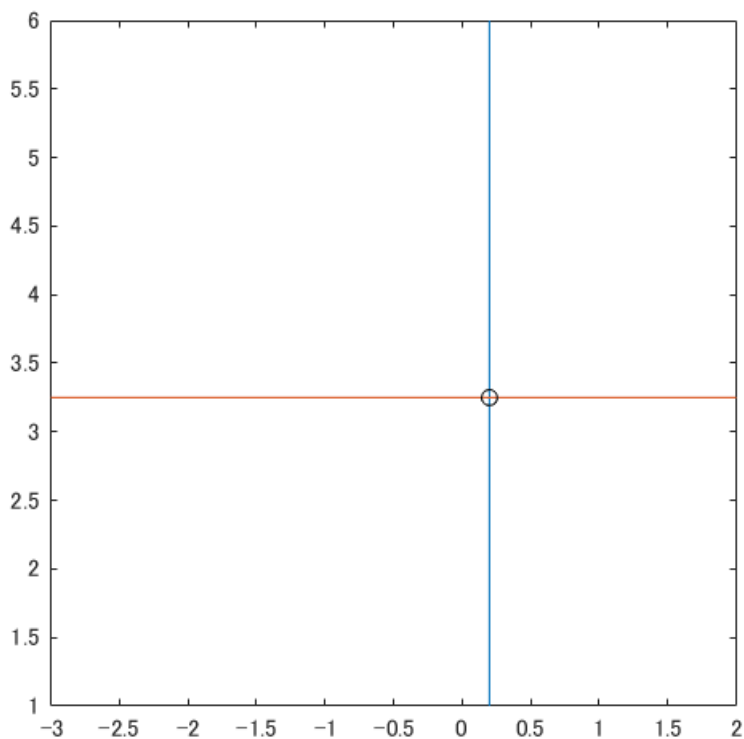
$$F1 = @(x,y) 10*x+0*y-2$$

F1 = 値をもつ function\_handle:  
@(x,y)10\*x+0\*y-2

$$F2 = @(x,y) 0*x+4*y-13$$

F2 = 値をもつ function\_handle:  
@(x,y)0\*x+4\*y-13

```
fimplicit(F1,[-3 2 1 6]);hold on  
fimplicit(F2,[-3 2 1 6]);hold on  
plot(0.2,3.25,'-.ok')  
daspect([1 1 1])  
hold off
```



## 課題

行列  $A$ , ベクトル  $\mathbf{b}$  について, 最小二乗解を求めよ.

(図を描くスクリプトのみは与えておく.)

$$A = \begin{pmatrix} -2 & 1 \\ 1 & 1 \\ 2 & -1 \\ 3 & 1 \end{pmatrix}, \quad \mathbf{b} = \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ -5 \\ 3 \end{pmatrix}$$

(1)

```
f=@(x,y) -2*x+y-1;
g=@(x,y) x+y-1;
h=@(x,y) 2*x-y+5;
i=@(x,y) 3*x+y-3;
fimplicit(f,[-5 5 -4 6]);hold on
fimplicit(g,[-5 5 -4 6]);hold on
fimplicit(h,[-5 5 -4 6]);hold on
fimplicit(i,[-5 5 -4 6]);hold on
daspect([1 1 1])
hold on
x=[-2;1;2;3]
```

```
x = 4x1
    -2
     1
```

2  
3

```
u=[1;1;1;1]
```

```
u = 4×1  
 1  
 1  
 1  
 1
```

```
y=[1;1;-1;1]
```

```
y = 4×1  
 1  
 1  
-1  
 1
```

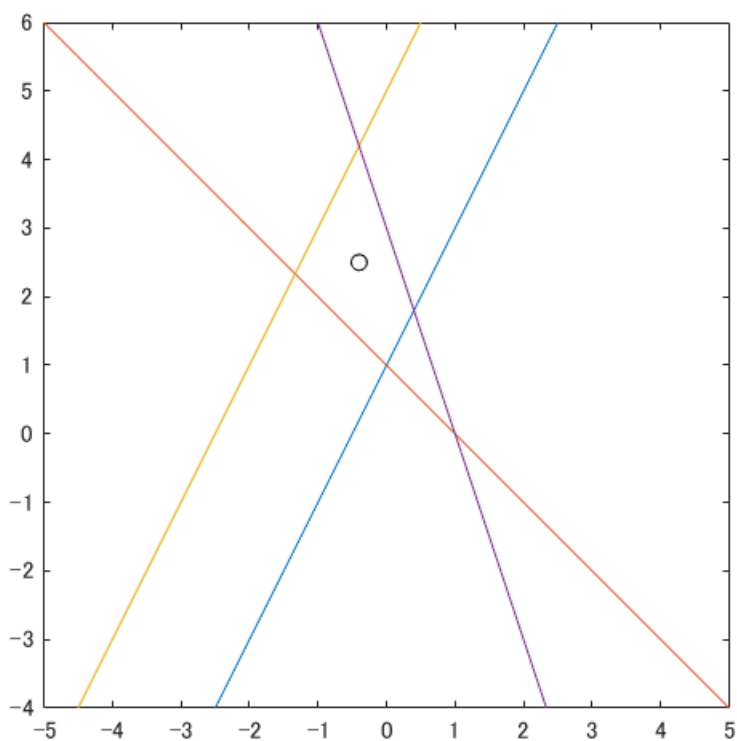
```
b=[1;1;-5;3]
```

```
b = 4×1  
 1  
 1  
-5  
 3
```

```
xp=(A'*A)\(A'*b)
```

```
xp = 2×1  
-0.4000  
 2.5000
```

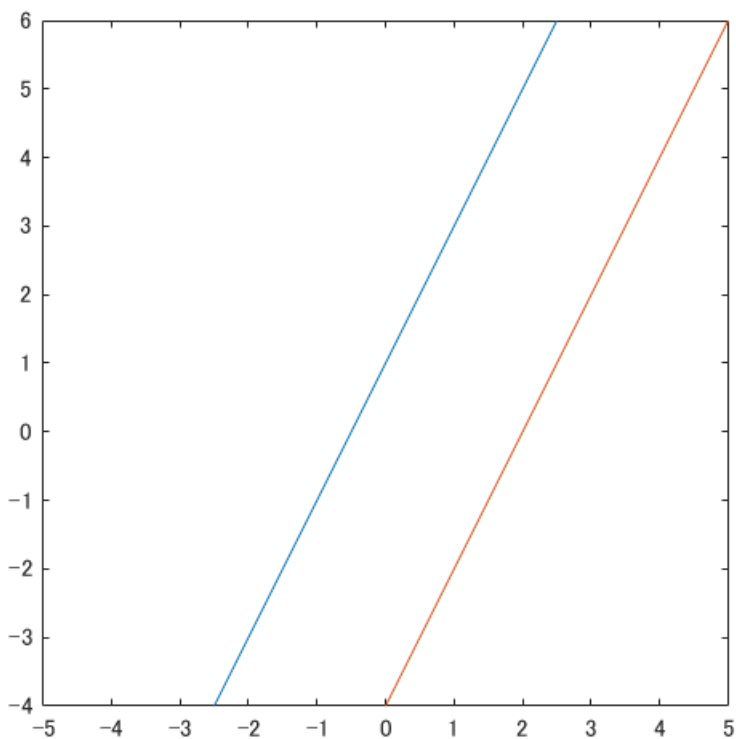
```
plot(-0.4,2.5,'- .ok')  
hold off
```



$$(2) A = \begin{pmatrix} -2 & 1 \\ 1 & -0.5 \end{pmatrix}, \quad \mathbf{b} = \begin{pmatrix} 1 \\ 2 \end{pmatrix}$$

```
f=@(x,y) -2*x+y-1;
g=@(x,y) x-0.5*y-2;
fimplicit(f,[-5 5 -4 6]);hold on
fimplicit(g,[-5 5 -4 6]);hold on
daspect([1 1 1])
hold off
```





以下で、いくつかのさらなる例を見よう。

### 例1

$$A\mathbf{x} = \begin{pmatrix} 1 & 1 \\ 1 & 1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_1 \\ x_2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 3 \\ 1 \end{pmatrix} = \mathbf{b} \quad .$$

この方程式は解を持たない (rank(A)=1).

しかし上と同様な式

$${}^t A A \mathbf{x} = {}^t A \mathbf{b}$$

と変形すれば

$${}^t A A \mathbf{x}' = \begin{pmatrix} 2 & 2 \\ 2 & 2 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x'_1 \\ x'_2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 4 \\ 4 \end{pmatrix} = {}^t A \mathbf{b}$$

となり、これを解いて

$$x'_1 + x'_2 = 2$$

を得る。これが最小二乗解である。

### 課題

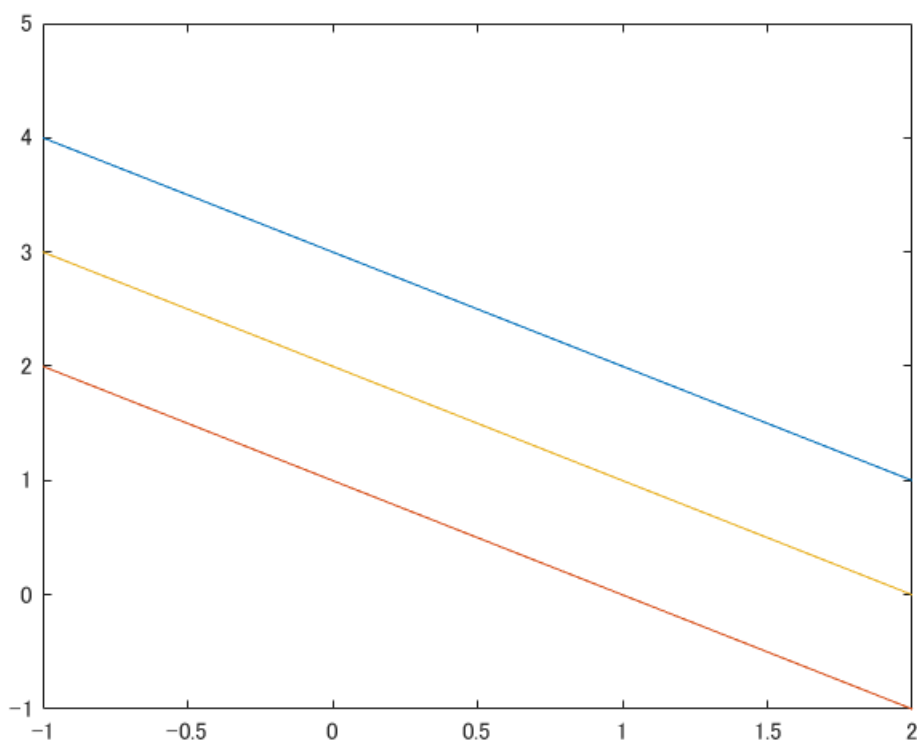
自分で同じような例題を考えてみよ.

## 最小二乗解の意味するもの (例1)

例1の最小二乗解が意味するところを図に示す. 以下の2点を考えてほしい.

- (1) 2つの式  $x_1 + x_2 = 3$ ,  $x_1 + x_2 = 1$  が示す直線
- (2) 最小二乗解の直線

```
f=@(x,y) x+y-3;  
g=@(x,y) x+y-1;  
h=@(x,y) x+y-2;  
fimplicit(f,[-1 2 -1 5]);  
hold on  
fimplicit(g,[-1 2 -1 5]);  
hold on  
fimplicit(h,[-1 2 -1 5]);  
hold off
```



解は直線上の任意の点で, 一意的には決まっていない.

## 例2

$$A\mathbf{x} = \begin{pmatrix} 1 & 1 \\ 1 & 1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_1 \\ x_2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 3 \\ 3 \end{pmatrix} = \mathbf{b} \quad .$$

この方程式は解が定まらない (rank(A)=1).

しかし上と同様な式

$${}^t A \mathbf{x} = {}^t \mathbf{Ab}$$

と変形すれば

$${}^t A \mathbf{x}' = \begin{pmatrix} 2 & 2 \\ 2 & 2 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x'_1 \\ x'_2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 6 \\ 6 \end{pmatrix} = {}^t \mathbf{Ab}$$

となり, これを解いて

$$x'_1 + x'_2 = 3$$

を得る. これが最小二乗解である.

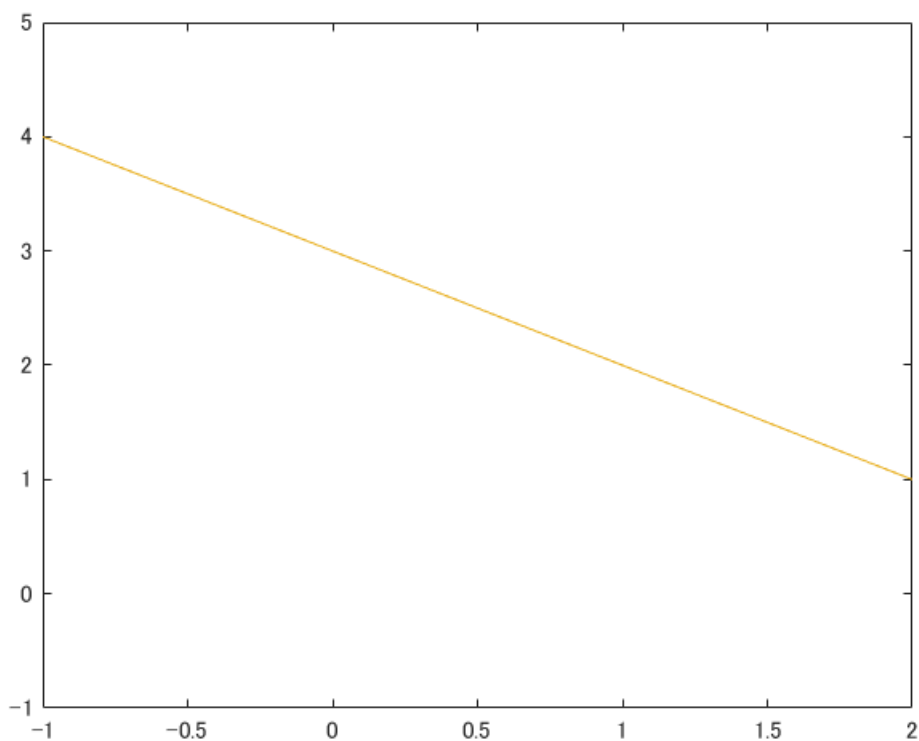
最小二乗解の意味するもの: 例2

例2の最小二乗解が意味するところを図に示す. 以下の2点を考えてほしい.

(1) 2つの式  $x_1 + x_2 = 3$ ,  $x_1 + x_2 = 3$  が示す直線

(2) 最小二乗解の直線

```
f=@(x,y) x+y-3;  
g=@(x,y) x+y-3;  
h=@(x,y) x+y-3;  
fimplicit(f,[-1 2 -1 5]);  
hold on  
fimplicit(g,[-1 2 -1 5]);  
hold on  
fimplicit(h,[-1 2 -1 5]);  
hold off
```



ここでも解は直線状の任意の点で、一意的には決まっていない。

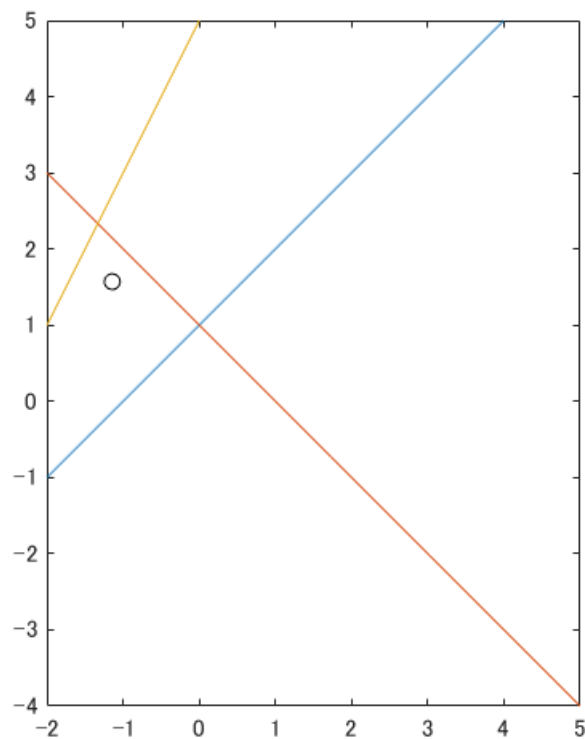
### 例 3

$$A\mathbf{x} = \begin{pmatrix} -1 & 1 \\ 1 & 1 \\ 2 & -1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_1 \\ x_2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ -5 \end{pmatrix} = \mathbf{b} .$$

方程式の数と未知数の数が合わないので、解は存在しない。

3つの直線を図に描き、後で求まる最小二乗解を描き入れておく。

```
f=@(x,y) -x+y-1;
g=@(x,y) x+y-1;
h=@(x,y) 2*x-y+5;
fimplicit(f,[-2 5 -4 5]);hold on
fimplicit(g,[-2 5 -4 5]);hold on
fimplicit(h,[-2 5 -4 5]);hold on
plot(-1.1429,1.5714,'-.ok'); hold on
daspect([1 1 1])
hold off
```



グラム行列の式

$$A^T A x = A^T b$$

に変形すれば

```
A=[-1 1; 1 1; 2 -1];
b=[1;1;-5];
A'*A
```

```
ans = 2x2
     6    -2
    -2     3
```

```
A'*b
```

```
ans = 2x1
    -10
     7
```

```
x=(A'*A)\(A'*b)
```

```
x = 2x1
   -1.1429
    1.5714
```

```
J=(A*x-b)'*(A*x-b)
```

```
J = 4.5714
```

$${}^tAA\mathbf{x}' = \begin{pmatrix} 6 & -2 \\ -2 & 3 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x'_1 \\ x'_2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} -10 \\ 7 \end{pmatrix} = {}^tA\mathbf{b}$$

となり，これを満足する解が求まる：

$$\begin{pmatrix} x'_1 \\ x'_2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} -1.1429 \\ 1.5714 \end{pmatrix}$$

この点が上の図に丸印で記入してある。

これが最小二乗解，すなわち最初に設定した $\mathbf{J}$ を最小化する $(x_1, x_2)$ である。

$$\begin{pmatrix} 6 & -2 \\ -2 & 3 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x'_1 \\ x'_2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} -10 \\ 7 \end{pmatrix}$$

を図に描こう。

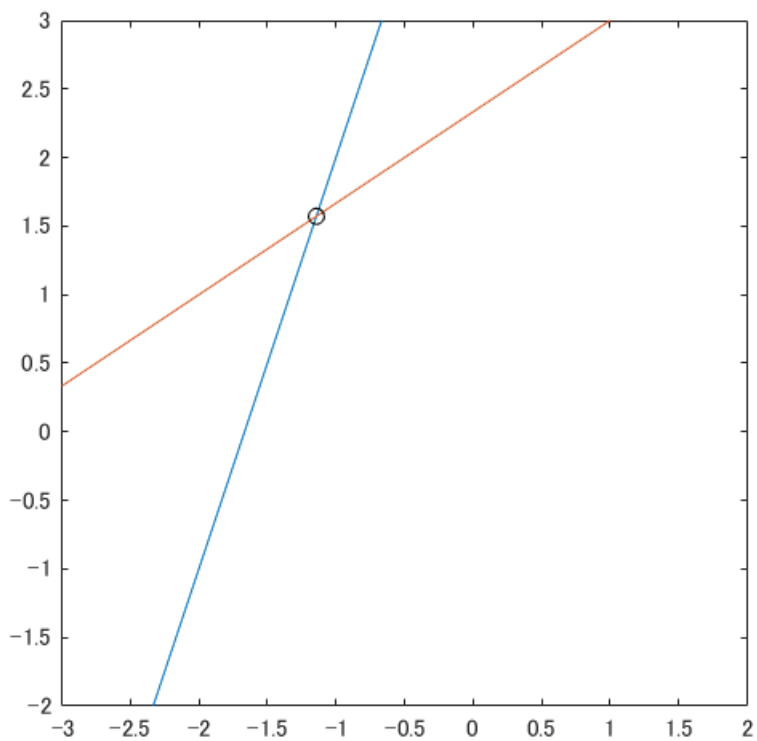
```
F1=@(x,y) 6*x-2*y+10
```

```
F1 = 値をもつ function_handle:
      @(x,y)6*x-2*y+10
```

```
F2=@(x,y) -2*x+3*y-7
```

```
F2 = 値をもつ function_handle:
      @(x,y)-2*x+3*y-7
```

```
fimplicit(F1,[-3 2 -2 3]);hold on
fimplicit(F2,[-3 2 -2 3]);hold on
plot(-1.1429,1.5714,'-.ok')
daspect([1 1 1])
hold off
```



### 課題

$$A\mathbf{x} = \begin{pmatrix} -1 & 1 \\ 1 & 1 \\ 4 & -2 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_1 \\ x_2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ -10 \end{pmatrix} = \mathbf{b}$$

の場合を考えよ.

例3と同様な場合である. 3つの直線および最小二乗解について例3と同様な議論を行え.